

発 言 通 告 書

令和4年2月24日

松山市議会議長 若江 進 殿

松山市議会議員 岡田 教人

次のとおり通告します。

発言順位	5	受領日時	2月 24日 午前 10時 40分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式		発言時間	約 50 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	新型コロナウイルス感染症の影響による行財政の運営について	(1)本市の財政運営について ①令和3年度の税込及び決算見込みについて ②令和4年度における税込見込みと基金の活用について (2)市役所で集団感染が起きた時の対応について (3)まん延防止等重点措置が適用されない中、飲食店など市内経済を止めないために、市民の行動変容を促すことについて、本市の見解を問う。
2	防災士日本一の松山市について	(1)どのような職域にどれだけの防災士を養成してきたのか。 (2)防災士のフォローアップの現状と防災力向上のために必要な今後の取組について (3)企業で防災士の取得を促進させる今後の取組について
3	働き方改革について	(1)市役所内における働き方改革の現状と効果について (2)新庁舎整備を契機とした働き方改革に資するICT化の方向性について (3)保育業務のICT化について ①保育業務の現状について ②保育業務のICT化推進の効果と本市の今後の取組について
4	観光分野の振興策について	(1)令和3年の観光施設の入込客数の現状について (2)令和4年度の国際観光客誘致促進事業について (3)コロナ収束後を見据えた本市の観光振興について
5	人口減少社会による影響について	(1)松山に住み続けることを促進するための取組と今後の方針について (2)UIJ ターンや移住を促進させるための取組と今後の方針について

